

三重県総合博物館(MieMu)の活動と運営に係るマネジメントのしくみについて(案)

三重県総合博物館(MieMu)が、長期にめざす姿(ビジョン)の実現に向けて、当面3年間(=計画期間)に戦略的に取り組むための計画とそのマネジメントのしくみを、以下のとおり検討しています。

ビジョン

三重は、日本列島のほぼ中央に位置し、南北に長く水深2,000mの深海から標高1,700m近くの山岳までもを含んだ多様な自然環境をもち、亜寒帯から亜熱帯までの幅広い生物種を育む日本列島の縮図のような自然を有している。
この自然を背景に、伊勢・伊賀・志摩国と紀伊国の一部から成り立つ三重は、それぞれの地域で特色あるくらしや歴史が育まれてきた。また、三重は古くから陸海の交通の要衝にあり、都に近く、信仰と商業の拠点を有したこと、人・モノ・情報が集まり交流が生まれることで、東西文化の結節点となり、多様な文化を生みだしてきた。
三重県総合博物館は、このような三重の多様で豊かな自然と歴史・文化について、県民・利用者の皆さんとともに総合力を発揮して探究し、保全・継承し、広くその意義を伝える。このことにより、三重の特徴と素晴らしさに気づき、多様な価値観のもとで、誇りをもって地域をより良くしようと人々が集う活気ある社会の形成を目指す。

戦略目標	戦術(案)	戦術を評価するための指標の候補			戦略を評価するための指標の候補
		アウトプット(産出量)	アウトカム(成果)		
			短期的(定量)	短期的(定性)	アウトカム(成果)
1 新たな利用者のすそ野が 広がり、何度も利用しても らえるために、事業内容を 充実させます。	1 多様な層を獲得するため、行ってみたいくなる企画展を実施します	企画展の数	観覧者内訳 観覧者数	企画展の満足度 展覧会に対する外部評価	年間パスポート購入者数 ミュージアムパートナー登録者数
	2 基本展示を何度も利用してもらうために、展示の更新や解説を実施します	展示更新の数 展示解説の数	再来館者数	基本展示の満足度 展覧会に対する外部評価	
	3 学校利用を促進するために、館内プログラムを充実します	館内プログラムの数	利用校数 来館学年内訳	プログラムの満足度 プログラムに対する外部評価	
2 博物館の存在が広く伝わ るために、開館の利点を活 かして積極的な広報を展開 します	4 利用者が受動的に目に入るメディアに掲載してもらうため、メディア向け説明会や内覧会をします	MieMuからマスコミへ発信数	参加社数 メディア露出回数 TVの露出時間 紙媒体での掲載面積	説明会の満足度	小学生のMieMuの知名度 一般のMieMuの知名度 MieMuの好感度(定性)
	5 利用者が受動的に目に入る広報ツール(ポスター)を活用するために、みりよく発信隊による広報活動を行います	みりよく発信隊の募集 みりよく発信隊への情報提供	みりよく発信隊登録者数	登録者のMieMuへの好感度	
	6 多くの人に博物館を利用してもらうために、利用者が能動的に情報を得る広報ツールであるホームページを充実させます	ホームページの更新数	閲覧数	ホームページ内容の満足度	
	7 多くの人に博物館を利用してもらうために、利用者が能動的に情報を得るツイッターを毎日更新します	ツイッターの発信数	フォロワーの数 リツイートの数 話題に上った数	MieMuに該当するツイート話題の内容	
3 「ともに考え、活動し、成長 する博物館」にするため に、博物館の活動と経営へ の県民・利用者の参画を促 進します。	8 多くの人に博物館を利用してもらうために、利用者が能動的に情報を得るフェイスブックを毎日更新します	フェイスブックの発信数	いいね!の数 コメントの数 友達の数	コメントの内容	参画者数 参画企業数 登録継続年数 登録継続年数の内訳 意見が実現された事業の満足度 参加回数の内訳
	9 活動への参画促進のために、ミュージアムパートナー制度を運営します	ミュージアムパートナーの募集	登録者数	登録者の満足度	
10 活動への企業の参画促進のために、企業との協働による事業を実施します	事業数	協賛金額	企業の連携事業の満足度		
4 博物館活動の基盤となる 資料の劣化を防ぎ、将来活 用できるようにするた めに、収蔵資料及び地域の 文化財等の保存・保全に注 力します	11 経営への参画促進のために、みんなで作る博物館会議(分科会も含め)の実施回数	みんなで作る博物館会議(分科会も含め)の実施回数	参加者数 意見の数 意見が実現された数	参加者の満足度 意見の内容	相談者の行動の変化(定性) 保存・保全方法の改善内容(定性)
	12 収蔵資料を保全するために、収蔵庫と展示室の定期清掃を行います	清掃回数	収蔵庫の虫の捕獲数 展示室の虫の捕獲数		
5 地域にある資料の学術的 価値づけとその意義を伝 えるために、地域づくりに 貢献できるような総合的 な研究に対象を絞って集 約的に取り組みます	13 地域の文化財等を保全するために、相談窓口を用意し、保存・保全環境を改善します	レファレンス窓口開設日数	相談件数 技術支援の実施数	相談対応の満足度	調査研究成果のオモシロさ(定性) 研究成果の認知度 参加者の行動の変化(定性) 地域の行動の変化(定性) 行政の施策の変化(定性)
	14 地域が研究に参画するために、小中学校に調査カードを配布し一緒に調べます	調査カード配布数	調査カード回収数	調査成果の満足度	
	15 地域の人々が研究に参画するために、研究調査を兼ねた観察会などの事業を実施します	事業実施回数	参加者数	事業の満足度	
6 経営資源を効果的に配分 するために、評価制度を活 用して事業を選択します	16 研究成果の意義を伝えるために、発表会や企画展示、シンポジウムを開催します	事業実施回数	参加者数 意義が伝わった人数	事業の満足度	職員の満足度(定性) 事業のコスト・パフォーマンスの改善(定性)
	17 事業を日常的に確認し改善するために、定期および臨時の戦略会議の場をもちます	内部の戦略会議の数	確認して改善した数	改善した事業の満足度の変化 改善の効果	
	18 評価制度が有効に働いているかを確認するために、評価士に定性評価していただきます	外部評価を依頼		評価レポート	

○用語

- ・戦略目標: 計画期間中、重点的に目的を持って取り組むこと
- ・戦術: 戦略目標達成のために、具体的に取り組むこと

○評価体制

- 内部評価: 内部評価委員会
- 外部評価: 博物館協議会評価部会
- 評価結果を報告、意見聴取
- みんなで作る博物館会議・こども会
- 博物館協議会

○マネジメントのしくみ

